

低気圧と前線による大雨について(第1報)

(土砂災害に厳重に警戒、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒)

令和6年6月17日12時20分

＜ポイント＞

低気圧や前線の影響で、西日本から東日本※1の太平洋側を中心に、これから18日(火)にかけて大雨となる所がある。特に鹿児島県(奄美地方を除く)と宮崎県では17日夜から18日午前中にかけて、愛媛県、高知県、香川県および徳島県では18日午前中は、線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性がある。

＜概況＞

前線が東シナ海から本州の南海上にのびており、東シナ海の低気圧が18日にかけて西日本から東日本の太平洋側を発達しながら進む。低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込むため、大気の状態が非常に不安定となる。

＜大雨＞

南西諸島と西日本ではこれから18日にかけて、東日本では18日は、雷を伴った非常に激しい雨※2が降り、西日本から東日本の太平洋側を中心に大雨となる所がある。特に鹿児島県(奄美地方を除く)と宮崎県では17日夜から18日午前中にかけて、愛媛県、高知県、香川県および徳島県では18日午前中は、線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性がある。

＜警戒事項＞

土砂災害に厳重に警戒、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒。落雷や竜巻などの激しい突風に注意。

※1 東日本: 関東甲信地方・北陸地方・東海地方 ※2 非常に激しい雨: 1時間に50mm以上80mm未満の雨

【警報級となる可能性のある期間】

日 時		17日		18日
		12～18	18～6	6～24
関東甲信地方	大雨			
伊豆諸島	大雨			
北陸地方	大雨			
東海地方	大雨			
近畿地方	大雨			
中国地方	大雨			
四国地方	大雨			
九州北部地方	大雨			
九州南部	大雨			
奄美地方	大雨			
沖縄地方	大雨			

(■可能性がある、■可能性が高い)

【大雨の見通し】(単位:ミリメートル)

地域	18日12時までの 24時間雨量	19日12時までの 24時間雨量
関東甲信地方	120	120
伊豆諸島	70	80
北陸地方	70	50未満
東海地方	150	120
近畿地方	180	50
中国地方	80	50未満
四国地方	300	50未満
九州北部地方	150	50未満
九州南部	300	50未満
奄美地方	180	80
沖縄地方	120	80

